

# K G U 教職課程履修カルテ

氏名		
所属	学部	学科
	学系	
学籍番号		
取得予定免許状の種類		
担当教員名		

「K G U 教職課程履修カルテ」は、免許状取得に必要な単位数を確認したり、自分の学習の目標を立てたり、教職課程で学んだことを振り返るためのものです。

- \* 必要な時に記入し、学年末には1年の振り返りをしてください。
- \* 「K G U 教職課程履修カルテ」は、教育職員免許状を取得するまで、大切に保管して下さい。

## 【KGU 教職課程のめざす教師像】

本学の建学の精神であるキリスト教に基づく人格陶冶を基礎とし、校訓「人になれ 奉仕せよ」を通して教職に求められる豊かな人間性を培いつつ、以下のような教員養成に努める。

- ①共生社会に貢献できる奉仕の精神をもった教員の養成
- ②幅広い教養と高度の専門的知識をもった教員の養成
- ③得意分野と個性を伸ばし、常に学び続けることのできる教員の養成
- ④体験的学習や多彩な指導法の修得を通じた実践的指導力をもった教員の養成

関東学院大学は文部科学大臣の認定を受けて、教育職員免許状を取得するための資格を与えるために教育職員養成課程（以下、教職課程と略記）を設置している。したがって、教職課程の教育目標は教育基本法に則り、かつ、1949年制定の教育職員免許法第1条「教育職員の資質の保持と向上を図ること」を目的としている。

さらに、私立のキリスト教総合大学である本学の教職課程は、以下のような独自の理念・目的・使命を意識し教員養成を行っている。まず、学院全体における建学の理念であるキリスト教に基づく人格、具体的には「人になれ 奉仕せよ」の校訓を人格陶冶の基底としている点である。次に、私立総合大学の教員養成機関として、戦後の開放制教員養成の理念をふまえ、幅広い教養と専門知識を有する教員を養成することである。つまり、本学教職課程独自の使命とは、私立キリスト教総合大学として、キリスト教の人格主義に基づく人間教育を基底に、幅広い教養と科学的な高度の専門知識（専攻分野と教職双方における）をもあわせもつ教員の育成にある。

本学教職課程の独自性・特色は次のようにまとめることができる。

第1に、本学のキリスト教に基づく建学の精神「奉仕」の理念により、ボランティア活動の推進を通して社会に貢献できる教員養成を行っていることである。例えば、学内においては「学生メンター制度」への協力や障がい者支援が、学外においては各種の学校ボランティア活動等があげられる。第2に、私立総合大学の教職課程として開放制に則り、多様な課程・学校種・教科の教員を養成していることがあげられる。11学部を擁する総合大学であるという本学のメリットを生かし、幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、栄養教諭、特別支援学校教諭等、様々な専門領域における教員の養成を行っている。さらに、学校図書館司書教諭養成課程を擁する。特に、2008年度の小学校教員養成課程発足により、本学において幼稚園から高校までの教員（教諭）養成課程が揃ったことは、教職課程を擁する私立大学の中でも特徴的であると言えよう。

第3に、教職課程は、全学共通の組織・共通カリキュラムで運営されていることである。教育内容の統一化により各学部間に生ずる差異が克服でき、柔軟な対応が可能である。特に夜間開講に重点を置き、学生に加え、現職教員や社会人の免許取得のニーズに対応している。また、教職課程担当専任教員は、教職課程の全学組織とともに各学部にも所属しており、学部・学科と密接に連携している。さらに、学院全体として系列校や同窓会（燦葉会）と協力し、教育実習等の提携や系列校への授業参観など、一貫教育校のメリットを生かしている。

第4に、地域との連携協力が挙げられる。本学教職課程では、高大連携による教育実習校の確保に加え、教育委員会との連携による学校支援ボランティアや各種講習の開講等を行っている。

近年では、教育職員免許法の改正や社会的ニーズに対応すべく、カリキュラムの変更・支援体制の充実を図っている。また、「KGU教職課程スタンダード」を策定し、人や社会への貢献を目指した人格形成等、教員養成の目標を明確に示している。今後も、本学の伝統を踏まえつつ、社会の変化および法令の改正等に積極的に対応していく予定である。

## 【KGU 教職課程スタンダード】

事項	到達目標	目標到達の確認指標
① 教員として求められる使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項	<p>教育に対する使命感や情熱とともに</p> <p>○ に、高い倫理観と規範意識を持って教育に携わることが出来る。</p>	<p>教員の使命や職務についての基本的な理解に基づ</p> <p>○ き、責任感を持って積極的に自己の責務を果たそうとする姿勢を持っているか。</p>
	<p>教員としての資質・能力の向上のために、常に努力し成長しようとする姿勢が身に付いている。</p> <p>○</p>	<p>自己の課題を認識し、その解決に向けて自己研鑽</p> <p>○ に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っているか。</p>
	<p>子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することが出来る。</p> <p>○</p>	<p>子どもの成長や安全、健康管理に常に配慮して、具</p> <p>○ 体的な教育活動を組み立てることが出来るか。</p>
② 教員として求められる社会性や対人関係能力に関する事項	<p>職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることが出来る。</p> <p>○</p>	<p>服装や挨拶、言葉遣い、他者に対する接し方など、</p> <p>○ 社会人としての基本が身に付いているか。</p>
	<p>子どもとの良好かつ建設的な関係を構築し、維持・発展させることが出来る。</p> <p>○</p>	<p>温かく、親しみのある態度で子どもに接するとともに、</p> <p>○ 子どもの成長を促す関わり方が出来るか。</p>
	<p>学校組織の一員として他教職員と協働するとともに、保護者や地域の人々との良好で協力的な人間関係を形成することが出来る。</p> <p>○</p>	<p>学校組織の一員として協調性や柔軟性を持って校務の運営に当たるとともに、保護者や地域の人々の意見や要望に耳を傾け、連携して子どもの教育を進めることができるか。</p> <p>○</p>
③ 教員として求められる幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項	<p>子どもに対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。</p> <p>○</p>	<p>一人一人の子どもの尊厳を守り、受容と共感をもって子どもに接することが出来るか。</p> <p>○</p>
	<p>子どもの発達や学習の在り方について理解するとともに、子どものニーズを把握し、適切な対応をすることが出来る。</p> <p>○</p>	<p>子どもの性格や発達レベル、健康状態等を考慮しつつ、一人一人のニーズに合わせた対応が出来るか。</p> <p>○</p>
	<p>互いの尊厳を促し、規律ある学級経営を行うことが出来る。</p> <p>○</p>	<p>子どもの特性や心身の状況を把握した上で学級経営</p> <p>○ 営案を作成し、それに基づく学級作りをしようとする姿勢を持っているか。</p>
④ 教員として求められる教科・保育内容等の指導力に関する事項	<p>教科書の内容を理解しているなど、学習指導の基本的事項を身に付けているとともに、幅広い教養と高い専門知識を有している。</p> <p>○</p>	<p>教科書の内容を十分に理解し、教科書を介してわかりやすく学習を組み立てるとともに、子どもからの質問に的確に答えることが出来るか。</p> <p>○</p>
	<p>板書、話し方、表情など授業を行う上での基本的な表現力を身に付けている。</p> <p>○</p>	<p>板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身に付けるとともに、子どもの反応を十分に引き出し集中力を高める授業を行うことが出来るか。</p> <p>○</p>
	<p>適切な学習目標を設定するとともに、子どもの反応や学習の定着状況に応じて、指導方法や教材等の工夫をすることが出来る。</p> <p>○</p>	<p>適切な学習目標を設定し、教育評価を行うとともに、</p> <p>○ 子どもの学ぶ意欲を高めるためにさらなる工夫をすることが出来るか。</p>
⑤ 人や社会への貢献を目指した人格形成に関する事項	<p>○ 人や社会に対して深い関心を持つことが出来る。</p>	<p>社会の中で生じている様々な出来事について興味・関心を持つとともに、他者を深く理解しようとする態度を持っているか。</p> <p>○</p>
	<p>○ 人や社会に対して共感的態度を持つことが出来る。</p>	<p>他者や社会に対して受容的で共感的な態度を持ち、積極的に他者や社会と関わろうとする態度を持っているか。</p> <p>○</p>
	<p>○ 奉仕とボランティアの精神を持って、人や社会への貢献を目指すことが出来る。</p>	<p>○ 奉仕活動やボランティアを通して、自らの力を他者や社会の貢献に役立てることが出来るか。</p>

## KGU 教職課程履修カルテ

### 教職課程ガイダンス出席状況

		教務課印		教務課印
1年次	春		秋	
2年次	春		秋	
3年次	春		秋	
4年次	春		秋	

### 所定の試験への合格

合格した試験	合否 (合格したら○)	備考
教職課程テスト		

### 介護等体験

	必選別	開講科目	修得年次	備考
介護等体験	中	オリエンテーション		
	中	第1回事前指導		
	中	第2回事前指導		
	中	第3回事前指導		
	中	社会福祉施設		
	中	特別支援学校		

※中学校免許希望者は必修

# KGU 教職課程履修カルテ【1年次】

（記入日 年 月 日）

		全 く あ て は ま ら な い	や や あ て は ま ら な い	ど ち ら だ も な い	や や あ て は ま る	非 常 に あ て は ま る	
① 教員の使命や職務についての基本的な理解に基づき、責任感を持って積極的に自己の責務を果たそうとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5	}	合計点
② 自己の課題を認識し、その解決に向けて自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5		A
③ 子どもの成長や安全、健康管理に常に配慮して、具体的な教育活動を組み立てることが出来る。	1	2	3	4	5		点
④ 服装や挨拶、言葉遣い、他者に対する接し方など、社会人としての基本が身に付いている。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑤ 温かく、親しみのある態度で子どもに接するとともに、子どもの成長を促す関わり方が出来る。	1	2	3	4	5		B
⑥ 学校組織の一員として協調性や柔軟性を持って校務の運営に当たるとともに、保護者や地域の人々の意見や要望に耳を傾け、連携して子どもの教育を進めることができる。	1	2	3	4	5		点
⑦ 一人一人の子どもの尊厳を守り、受容と共感をもって子どもに接することが出来る。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑧ 子どもの性格や発達レベル、健康状態等を考慮しつつ、一人一人のニーズに合わせた対応が出来る。	1	2	3	4	5		C
⑨ 子どもの特性や心身の状況を把握した上で学級経営案を作成し、それに基づく学級作りをしようとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5		点
⑩ 教科書の内容を十分に理解し、教科書を介してわかりやすく学習を組み立てるとともに、子どもからの質問に的確に応えることが出来る。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑪ 板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身に付けるとともに、子どもの反応を十分に引き出し集中力を高める授業を行うことが出来る。	1	2	3	4	5		D
⑫ 適切な学習目標を設定し、教育評価を行うとともに、子どもの学ぶ意欲を高めるためにさらなる工夫をすることが出来る。	1	2	3	4	5		点
⑬ 社会の中で生じている様々な出来事について興味・関心を持つとともに、他者を深く理解しようとする態度を持っている。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑭ 他者や社会に対して受容的で共感的な態度を持ち、積極的に他者や社会と関わろうとする態度を持っている。	1	2	3	4	5		E
⑮ 奉仕活動やボランティアを通して、自らの力を他者や社会の貢献に役立てることが出来る。	1	2	3	4	5		点

上記 A～E の各得点を次頁レーダーチャート図に記入のこと



# KGU 教職課程履修カルテ【2年次】

（記入日 年 月 日）

		全 く あ て は ま ら な い	や あ て は ま ら な い	ど ち ら で も な い	や あ て は ま る	非 常 に あ て は ま る	
① 教員の使命や職務についての基本的な理解に基づき、責任感を持って積極的に自己の責務を果たそうとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5	}	合計点
② 自己の課題を認識し、その解決に向けて自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5		A
③ 子どもの成長や安全、健康管理に常に配慮して、具体的な教育活動を組み立てることが出来る。	1	2	3	4	5		点
④ 服装や挨拶、言葉遣い、他者に対する接し方など、社会人としての基本が身に付いている。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑤ 温かく、親しみのある態度で子どもに接するとともに、子どもの成長を促す関わり方が出来る。	1	2	3	4	5		B
⑥ 学校組織の一員として協調性や柔軟性を持って校務の運営に当たるとともに、保護者や地域の人々の意見や要望に耳を傾け、連携して子どもの教育を進めることができる。	1	2	3	4	5		点
⑦ 一人一人の子どもの尊厳を守り、受容と共感をもって子どもに接することが出来る。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑧ 子どもの性格や発達レベル、健康状態等を考慮しつつ、一人一人のニーズに合わせた対応が出来る。	1	2	3	4	5		C
⑨ 子どもの特性や心身の状況を把握した上で学級経営案を作成し、それに基づく学級作りをしようとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5		点
⑩ 教科書の内容を十分に理解し、教科書を介してわかりやすく学習を組み立てるとともに、子どもからの質問に的確に応えることが出来る。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑪ 板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身に付けるとともに、子どもの反応を十分に引き出し集中力を高める授業を行うことが出来る。	1	2	3	4	5		D
⑫ 適切な学習目標を設定し、教育評価を行うとともに、子どもの学ぶ意欲を高めるためにさらなる工夫をすることが出来る。	1	2	3	4	5		点
⑬ 社会の中で生じている様々な出来事について興味・関心を持つとともに、他者を深く理解しようとする態度を持っている。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑭ 他者や社会に対して受容的で共感的な態度を持ち、積極的に他者や社会と関わろうとする態度を持っている。	1	2	3	4	5		E
⑮ 奉仕活動やボランティアを通して、自らの力を他者や社会の貢献に役立てることが出来る。	1	2	3	4	5		点

上記 A～E の各得点を次頁レーダーチャート図に記入のこと



# KGU 教職課程履修カルテ【3年次】

（記入日 年 月 日）

		全 く あ て は ま ら な い	や あ て は ま ら な い	ど ち ら だ も な い	や あ て は ま る	非 常 に あ て は ま る	
① 教員の使命や職務についての基本的な理解に基づき、責任感を持って積極的に自己の責務を果たそうとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5	}	合計点
② 自己の課題を認識し、その解決に向けて自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5		A
③ 子どもの成長や安全、健康管理に常に配慮して、具体的な教育活動を組み立てることが出来る。	1	2	3	4	5		点
④ 服装や挨拶、言葉遣い、他者に対する接し方など、社会人としての基本が身に付いている。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑤ 温かく、親しみのある態度で子どもに接するとともに、子どもの成長を促す関わり方が出来る。	1	2	3	4	5		B
⑥ 学校組織の一員として協調性や柔軟性を持って校務の運営に当たるとともに、保護者や地域の人々の意見や要望に耳を傾け、連携して子どもの教育を進めることができる。	1	2	3	4	5		点
⑦ 一人一人の子どもの尊厳を守り、受容と共感をもって子どもに接することが出来る。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑧ 子どもの性格や発達レベル、健康状態等を考慮しつつ、一人一人のニーズに合わせた対応が出来る。	1	2	3	4	5		C
⑨ 子どもの特性や心身の状況を把握した上で学級経営案を作成し、それに基づく学級作りをしようとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5		点
⑩ 教科書の内容を十分に理解し、教科書を介してわかりやすく学習を組み立てるとともに、子どもからの質問に的確に応えることが出来る。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑪ 板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身に付けるとともに、子どもの反応を十分に引き出し集中力を高める授業を行うことが出来る。	1	2	3	4	5		D
⑫ 適切な学習目標を設定し、教育評価を行うとともに、子どもの学ぶ意欲を高めるためにさらなる工夫をすることが出来る。	1	2	3	4	5		点
⑬ 社会の中で生じている様々な出来事について興味・関心を持つとともに、他者を深く理解しようとする態度を持っている。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑭ 他者や社会に対して受容的で共感的な態度を持ち、積極的に他者や社会と関わろうとする態度を持っている。	1	2	3	4	5		E
⑮ 奉仕活動やボランティアを通して、自らの力を他者や社会の貢献に役立てることが出来る。	1	2	3	4	5		点

上記 A～E の各得点を次頁レーダーチャート図に記入のこと



## KGU 教職課程履修カルテ【4年次】

（記入日 年 月 日）

		全 く あ て は ま ら な い	や あ て は ま ら な い	ど ち ら で も な い	や あ て は ま る	非 常 に あ て は ま る	
① 教員の使命や職務についての基本的な理解に基づき、責任感を持って積極的に自己の責務を果たそうとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5	}	合計点
② 自己の課題を認識し、その解決に向けて自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5		A
③ 子どもの成長や安全、健康管理に常に配慮して、具体的な教育活動を組み立てることが出来る。	1	2	3	4	5		点
④ 服装や挨拶、言葉遣い、他者に対する接し方など、社会人としての基本が身に付いている。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑤ 温かく、親しみのある態度で子どもに接するとともに、子どもの成長を促す関わり方が出来る。	1	2	3	4	5		B
⑥ 学校組織の一員として協調性や柔軟性を持って校務の運営に当たるとともに、保護者や地域の人々の意見や要望に耳を傾け、連携して子どもの教育を進めることができる。	1	2	3	4	5		点
⑦ 一人一人の子どもの尊厳を守り、受容と共感をもって子どもに接することが出来る。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑧ 子どもの性格や発達レベル、健康状態等を考慮しつつ、一人一人のニーズに合わせた対応が出来る。	1	2	3	4	5		C
⑨ 子どもの特性や心身の状況を把握した上で学級経営案を作成し、それに基づく学級作りをしようとする姿勢を持っている。	1	2	3	4	5		点
⑩ 教科書の内容を十分に理解し、教科書を介してわかりやすく学習を組み立てるとともに、子どもからの質問に的確に応えることが出来る。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑪ 板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身に付けるとともに、子どもの反応を十分に引き出し集中力を高める授業を行うことが出来る。	1	2	3	4	5		D
⑫ 適切な学習目標を設定し、教育評価を行うとともに、子どもの学ぶ意欲を高めるためにさらなる工夫をすることが出来る。	1	2	3	4	5		点
⑬ 社会の中で生じている様々な出来事について興味・関心を持つとともに、他者を深く理解しようとする態度を持っている。	1	2	3	4	5	}	合計点
⑭ 他者や社会に対して受容的で共感的な態度を持ち、積極的に他者や社会と関わろうとする態度を持っている。	1	2	3	4	5		E
⑮ 奉仕活動やボランティアを通して、自らの力を他者や社会の貢献に役立てることが出来る。	1	2	3	4	5		点

上記 A～E の各得点を次頁レーダーチャート図に記入のこと



## KGU 教職課程履修カルテ

### 文部科学省令に定める科目

#### 理工学部

法令科目区分	必選別	開講科目	単 位	修得 年次	評価	担当教員
日本国憲法	○	憲 法	2			
体 育	△	健康スポーツⅠ	1			
	△	健康スポーツⅡ	1			
	△	健康スポーツⅢ	1			
	△	健康スポーツⅣ	1			
	△	健康スポーツⅤ	1			
	△	健康スポーツⅥ	1			
外国語コミュニケーション	○	総合英語（リスニング）	1			
	○	総合英語（オーラルコミュニケーション）	1			
情報機器の操作	○	KGU 情報基礎演習 （情報基礎及び演習Ⅰ）	2			

【必選別】 ○：必修    △：選択必修    中：中学校免許取得の場合は必修

## KGU 教職課程履修カルテ

### 教職課程に関する科目

法令科目 区分	授業科目名	必 選 別	単 位	修 得 年 次	評 価	担当教員	学んだこと
教育の基礎的 理解に関する 科目	教育原理	○	2				
	教職論 (チーム学校を含む)	○	2				
	学校の制度	○	2				
	教育心理学	○	2				
	特別支援教育	○	2				
	教育課程論 (カリキュラム マネジメントを含む)	○	2				
道徳、総合的な 学習の時間等 の指導法及び 生徒指導、教育 相談等に関す る科目	道徳教育の理論と実 践 ※1	中	2				
	総合的な学習の時間 の指導法	○	2				
	特別活動の理論と実 践	○	2				

※1 高等学校免許取得時は「大学が独自に設定する科目」に算入。

## KGU 教職課程履修カルテ

### 教職課程に関する科目

○:必修 中:中学校免許希望者は必修

教職に関する科目	科目名	必 選 別	単 位	修 得 年 次	評 価	担当教員	学んだこと
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法と技術	○	2				
	教育の方法と技術2 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	○	1				
	生徒指導・進路指導の理論と方法	○	2				
	教育相談 (カンセリク*を含む)	○	2				
教育実践に関する科目	教育実習指導1	○	1				
	教育実習指導2	○	1				
	教育実習1	○	2				
	教育実習2	中	2				
	教職実践演習(中高)	○	2				
教科および教科の指導法に関する科目	各教科の指導法			次ページに記入		次ページに記入	

## KGU 教職課程履修カルテ

### 教職課程に関する科目

※必選別は履修要綱を参照のこと。

教職に関する 科目	科目名	必 選 別	単 位	修 得 年 次	評 価	担当教員	学んだこと
教科および教 科の指導法に 関する科目	数学科教育法 1	※	4				
	数学科教育法 2		4				
	技術科教育法 1		4				
	技術科教育法 2		4				
	理科教育法 1		4				
	理科教育法 2		4				
	工業科教育法		4				